

平成26年上尾市教育委員会5月定例会 教育長報告3

所属名 学校教育部 指導課

<p>件 名</p> <p>平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果 (速報値) について</p>	
<p>内 容 説 明</p> <p>平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果(速報値)について、別紙のとおり報告します。</p>	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果(速報値) [10・11 ページ]

平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果

1 暴力行為 ※ H25年4月1日～H26年3月31日

(1) 暴力行為発生件数 (件)

	H21	H22	H23	H24	H25
小学校	10	1	1	4	0
中学校	28	15	25	6	3
合計	38	16	26	10	3

(2) 形態別発生件数

【小学校】

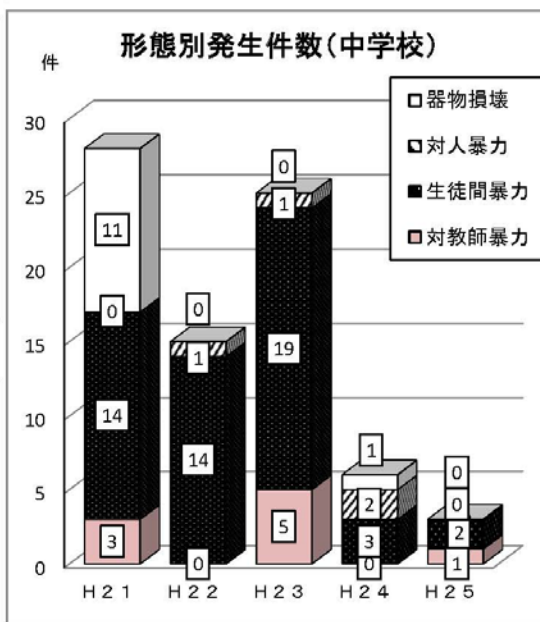
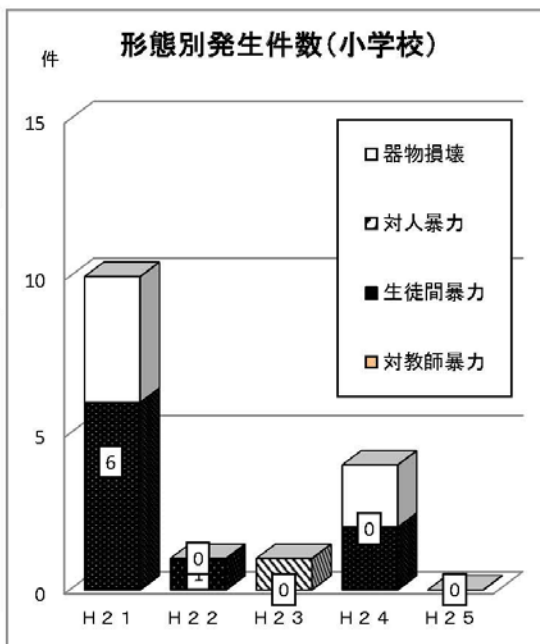
	H21	H22	H23	H24	H25
対教師暴力	0	0	0	0	0
生徒間暴力	6	1	0	2	0
対人暴力	0	0	1	0	0
器物損壊	4	0	0	2	0
合計	10	1	1	4	0

【中学校】

	H21	H22	H23	H24	H25
対教師暴力	3	0	5	0	1
生徒間暴力	14	14	19	3	2
対人暴力	0	1	1	2	0
器物損壊	11	0	0	1	0
合計	28	15	25	6	3

(3) 1校あたりの暴力発生件数 (件)

	H21	H22	H23	H24	H25
県小学校	0.27	0.14	0.13	0.28	未発表
市小学校	0.45	0.05	0.05	0.18	0.00
県中学校	4.34	3.58	3.14	2.97	未発表
市中学校	2.55	1.36	2.27	0.55	0.27



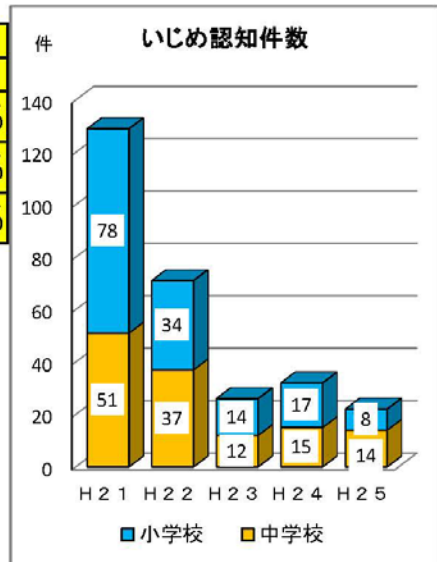
- (1) 小学校の暴力行為は、0件である。
- (2) 中学校の発生件数は3件で、昨年度と比較して3件減少している。
- (3) 本年度の形態別発生件数の昨年度との比較は、対教師暴力は1件で1件増加、生徒間暴力は2件で3件減少、対人暴力が0件で2件の減少、器物破損が0件で3件の減少である。
- (4) 各学校における生徒指導の充実が図られ、市全体が落ち着いた状況がうかがえる。

2 いじめ ※ H25年4月1日～H26年3月31日

(1) いじめ認知件数

(件)

	H21	H22	H23	H24	H25	
					件数	解消率
小学校	78	34	14	17	8	100.0%
中学校	51	37	12	15	14	92.9%
合計	129	71	26	32	22	95.5%



(2) 1校あたりのいじめ認知件数

(件)

	H21	H22	H23	H24	H25
県小学校	0.82	0.70	0.47	1.33	未発表
市小学校	3.55	1.55	0.64	0.77	0.36
県中学校	2.77	2.39	2.01	4.38	未発表
市中学校	4.64	3.36	1.09	1.36	1.27

- (1) いじめについては、児童生徒の学級での満足度や状態を把握するためのQ-Uや、教員のいじめを見抜く力を高めるCAP研修会を実施した。その結果、いじめの認知件数が昨年度に比べ、小学校で9件、中学校で1件減少している。
- (2) いじめの解消件数は、小学校が8件中8件、中学校が14件中13件である。

3 不登校 ※ H25年4月1日～H26年3月31日

(1) 不登校児童生徒数（上尾市）

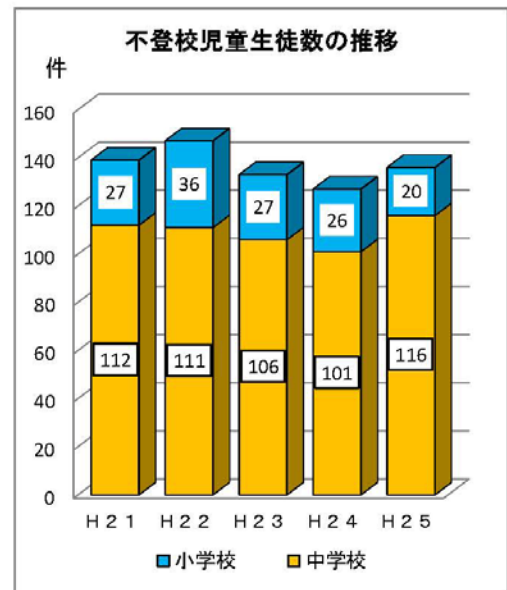
(人)

	H21	H22	H23	H24	H25
小学校	27	36	27	26	20
中学校	112	111	106	101	116
合計	139	147	133	127	136

※数値は、文部科学省調査による。

(2) 不登校児童生徒の割合

	H21	H22	H23	H24	H25
県小学校	0.26%	0.26%	0.25%	0.22%	未発表
市小学校	0.20%	0.27%	0.21%	0.21%	0.16%
県中学校	2.92%	2.69%	2.44%	2.42%	未発表
市中学校	1.82%	1.82%	1.68%	1.60%	1.83%



- (1) 不登校児童生徒数は、小学校で6人減少し、中学校で15人増加した。
- (2) 小学校で減少した要因として、教育センターと学校・家庭の連携が考えられる。
- (3) 中学校の不登校となる原因として、学業不振や人間関係が考えられる。
- (4) 小・中学校の滑らかな接続を推進するとともに、各学校では教育相談主任等を中心に教育相談体制のさらなる充実を図り、関係機関等との連携を一層強化し、不登校対策を行うことが重要である。